

フルートについて

<フルートの価格について>

フルートの価格の違いは、材質と耐久性の違いです。

銀や、金など材質の違いが音色にあらわれます。

一般的には、銀や金の部分が多くなると音に深みが出ると言われています。

耐久性については、どのクラスの楽器でも使い始めの1,2年ではあまり差が出ません。

しかし何年も使い続けると、差が出てきます。

耐久性に優れているクラスものは、調整によって新品と同じ様にキチンとした状態になり、それを繰り返して、長い期間使い続けることができます。

*100,000円以下

頭部管、本体、足部管、キーいずれも、洋銀に銀メッキのものがほとんどです。

上達されると、上のクラスへの買い換えが必要になってくるクラスではありますが、導入としては、こちらのクラスはお勧めです。

*100,000円～200,000円台

頭部管のみが銀製、本体、足部管は洋銀に銀メッキ。

メカニズム的には高級機種とあまり変わりませので、全タンポ交換をした後も使い続ける事ができます。

これからもフルートを続けていかれるかたには、お勧めのクラスです。

*300,000円以上

頭部管・本体・足部管銀製、キーは洋銀に銀メッキのものです。

メカニズムも長持ちする様作られています。

*500,000円以上

総銀製。すべて銀製で作られています。

音色も深く、音のニュアンスのつけやすく、より高い音楽性を求めるかたへお勧めです。

*1,000,000円以上

フルートは高級な楽器とされています。

金製やプラチナ製などは数百万円するものもあります。

このクラスになると、音色の違いで、お好みのものを選ぶと良いでしょう。



<メンテナンス・保証調整・全体調整・オーバーホール（全タンポ交換）について>

- ・フルートはピアノの調律同様、調整が必要です。きちんと調整、修理することでいい状態で長く使って頂けます。
- ・保証期間は、1年です。ジョイント調整・バランス調整などが無償で受けられます。
- ・
- ・最低1年に一度の調整をお勧め致します。バランス調整だけなら10,000円前後。タンポの交換には1箇所につき2000円～の費用が掛かります。
- ・キーの裏側についたタンポは消耗品ですので、3年～5年位の間にはオーバーホールが必要です。タンポをすべて交換すると、70,000円～100,000円の費用が掛かります。

<取扱いについて> フルートのタンポは消耗品です

フルートの指でおさえる裏側には紙が薄い皮で巻かれた“タンポ”というものがついています。フルートのタンポはクラリネットなどに比べると、薄い皮は2枚重ねになっていて、中心に金属がかませてあるので長持ちするように作られています。これは消耗品で、使っているうちに破れてきます。

通常タンポは、消耗することで破れてくるのですが、掃除の仕方によっても破れやすくなってしまう場合があります。

水分を含んだまま放置してしまうと、乾燥した時破れやすくなりますし、楽器の掃除をする際に、クロスでこすってしまったり脇が破れてしまうこともあります。

練習した後は、掃除棒とガーゼや布を使って本体の水分を取りましょう。タンポは、クリーニングペーパーで余分な水分を取ります。強く抑えて、引き抜いたりするとタンポがやぶれてしまう場合がありますので、やり過ぎない様に気をつけましょう。

フルートは全タンポ交換の修理に70,000～100,000円の費用が掛かります。日々の掃除の仕方によって、タンポの寿命も変わってきます。

掃除を丁寧にする事で、楽器の状態も良くわかりますし、タンポの破れを最小限に抑える事ができます。



<キーシステム・オプションについて>

*リングキー・カバードキー

指でふさぐキーがリングになって穴が空いているか、カバーされているかの違いです。最初はうまく指がふさがげない事が多く、カバードキーのものが良く使われます。

逆に、総銀製のフルートをお求めになる方には、リングキーのものが好まれています。

*Eメカニズム・ニューEメカニズム

第3オクターブのE(ミ)の音の発音がしやすくなるキーメカニズムです。

サンキョウ独自のニューEメカニズムと、通常のEメカニズムとがあります。

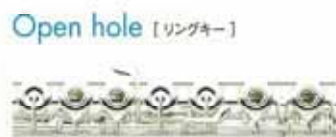
ミヤザワには、Eメカニズムが標準装備されており、ムラマツにはオプションとしてつける事ができます。

*H足部管

オプションでH足部管をつけると、一音低いシの音までです。

一般的にはC足部管のままが多い様です。

総銀製以上のクラスをお持ちになる方は、オーケストラなどで低いシを使うこともあるので、H足部管を付ける場合もあります。



C足部管



H足部管

ニューEメカニズム



Eメカニズム



<フルートに必要なもの> 楽器をお買い上げになるとすべてついてきます

ケース・ケースカバー

メンテナンス用品

クレフオリジナルクロス	¥1,890	(楽器を磨く布。特殊素材ですので拭き筋が残らず綺麗になります)
クリーニングロッド	各種¥1,050~	(掃除棒、ガーゼを巻いて本体の掃除をします)
クリーニングガーゼ	ヤマハ ¥473	(本体掃除に使うガーゼ)
クリーニングペーパー	ヤマハ ¥525	(タンポの水分を吸収するための紙)



<楽器について> ご購入の際に詳しく説明致します

楽器の組み立て方

- ・ 楽器を扱う上での基本です。始めは面倒で、難しく感じるかもしれませんが、慣れてしまえば簡単にできる様になります。

掃除の仕方

- ・ 楽器は、掃除をしてからケースにしまえます。
毎日の掃除の仕方によって楽器の耐久性が違ってきます。

ク レ フ 楽 器

〒305-0033 つくば市東新井 8-13

TEL 029-851-6426

FAX 029-851-6427

<http://homepage2.nifty.com/clefgakki/>

E-mail clefgakki@nifty.com